

受講者各位

赤外線サーモグラフィ試験 実技講習会での赤外線サーモグラフィ装置持込みについて

一般社団法人日本非破壊検査協会 学術部業務課

(一社)日本非破壊検査協会 認証事業部より、2024年秋期二次試験(2024年11~12月実施)より、赤外線サーモグラフィ試験の赤外線サーモグラフィ装置持込みを受け付けることが発表されました。*1

それを受け、当協会の11月開催の実技講習会から、既存のコースに赤外線サーモグラフィ装置持込みのコースを同時開催する形で実施いたします。

また、募集時に講習中に使用する赤外線サーモグラフィ装置についてコース分けをいたしました。(Avio選択、FLIR選択、持込み選択)これらの3コースからお選びください。(募集人数の合計数に変更はございませんので、ご希望のコースの人数がいっぱいとなった場合はご相談ください)また、持ち込み機種に関しては、以下に記載されている持込受験ができる機種のみとなります。

*1 赤外線サーモグラフィ装置持込みを受付について

赤外線サーモグラフィ試験(TT)の実技試験では、2024年秋期新規試験及び2025年春期再認証試験より「赤外線サーモグラフィ装置の持込み受験」を認めています。「JSNDIが準備する赤外線サーモグラフィ装置による受験」又は「持込み受験」のいずれかを選択して受験できます。

- ・「JSNDIが準備する赤外線サーモグラフィ装置による受験」では、2機種(NEC/Avio製H2630、FLIR製SC620)から1つを選択します。
- ・「持込み受験」では、「JSNDIが公表した赤外線サーモグラフィ装置」を持ち込んで受験します。

持込受験ができるカメラの機種(2024年7月3日現在)

メーカー名	機種
フリーアシステムズジャパン株式会社	E52、E54、E76、E86、E96、T530、T540、T560、T840、T860、T865
日本アビオニクス株式会社	R550 シリーズ：R550Pro、R550、R550S、R450 シリーズ：R450Pro、R450、R450S

(一般社団法人 日本非破壊検査協会 認証事業部「受験申請補足資料-B」より抜粋)

注意事項

指導員は全ての装置の取り扱い方法について説明は一切行いませんので、ご了承ください。

また、装置の取り扱いにも十分に慣れていることも条件になります。

解析用PC、電源タップ、SDカードリーダーに関しましては当協会にてご用意いたします。

赤外線カメラ用ACアダプタ、充電済み予備バッテリー、バッテリー充電器等に関しましては、受講者ご自身でのご用意をお願いいたします。

本件に関するお問い合わせ

一般社団法人 日本非破壊検査協会 学術部業務課

〒136-0071 東京都江東区亀戸 2-25-14 京阪亀戸ビル TEL:03-5609-4013 FAX:03-5609-4061